

第10回歴史文化探訪セミナー 実績

平成24年度船来山春の赤彩古墳の館特別開館の関連企画として、6月2日（土）に本巢公民館で開催しました。50名の参加があり、大変盛況でした。

今回第10回目を迎えるセミナーでは、講師に中井正幸氏（大垣市教育委員会文化財専門官）をお招きし、「古墳の魅力～古墳はなぜ築かれたのか～」という講話をいただきました。



▲セミナーの様子

大垣市昼飯大塚古墳、長塚古墳の調査に長年携わられた経験から、古墳は「モニュメント」であるという視点で、古墳の場所や古墳から見える風景も当時の社会を表しているというお話をいただきました。



また、船来山24号墳では後漢鏡と仿製鏡、腕輪型石製品が、宝珠古墳では仿製鏡、腕輪型石製品が出土し、三角縁神獣鏡が出土していないことなどから、本巢地域の古墳は、新興勢力の豪族が築いたものではないかというお話もいただきました。

▲熱心に聞く参加者

本巢市内の古墳は、古墳時代前期から中期（4世紀～5世紀）の古墳について、解明されていない点が多く、今後の課題でもあります。講話の後、葺石や5世紀代の円筒埴輪が確認され、昨年本巢市教育委員会が行った測量調査で円墳の可能性が高くなった「文殊古墳」を探訪しました。参加者は、古代豪族になった気持ちで、文殊古墳から船来山や文殊の平野を眺めました。



文殊古墳探訪の様子▲